

大正の校舎写真、昭和の教科書



日野小学校の写真や教科書などを紹介する林義則さん(左)と横井泰昭支店長＝岐阜市日野南、岐阜信用金庫日野支店

日野小150年の歩み

岐阜信金支店 ロビーで展示

間もなく創立150周年を迎える日野小学校(岐阜市日野北)の歴史を紹介する写真、資料の展示が、同市日野南の岐阜信用金庫日野支店で開かれている。9月2日まで。

同校は明治7(1874)年、誓源寺を仮校舎に「果能舎」として開校した。その後、3度の移転を経て現在の場所に校舎がある。

展示は日野歴史調査委員会の林義則さん(84)＝同市日野北＝が企画。林さんは

70歳を機に地元の学校の歴史を学ぼうと考え、資料の収集活動などを続けている。

支店のロビーに展示コーナーが設けられ、大正時代の校舎や児童を写した写真、明治時代の卒業証書の写真などを紹介。知人から譲り受けた大正時代、昭和10年代の教科書の実物も置いてある。学校の出来事を記した自作の年表などの情報も展示した。

林さんは「記録として残したいと思い、活動を始めた。若い世代の人も含めて、展示を通して住民の交流が深まってほしい」と話す。

支店の横井泰昭支店長は「地域の発展に微力ながら貢献できれば」と述べた。(山本貴史)